

第3世代セファロスポリン耐性に係る判定基準の変更について

1. 現状

第3世代セファロスポリン耐性大腸菌及び同肺炎桿菌では、セフトキシム (CTX) 及びセフトジジム (CAZ) を判定基準に用いる薬剤としている。

2. 課題

近年、セフトリアキソン (CTRX) に対する耐性を測定している医療機関が増えている。

3. 対処方針(案)

第3世代セファロスポリン耐性大腸菌及び同肺炎桿菌の判定基準に、CTRX 耐性を追加する。

(参考)

第3世代セファロスポリン耐性大腸菌及び同肺炎桿菌の判定基準

2015年5月改訂				
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 検査部門特定の耐性菌 判定基準 (Ver.4.1)				
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
第三世代セファロスポリン耐性肺炎桿菌	CTX または CAZ が "R" の <i>Klebsiella pneumoniae</i>	2351	CTX ≥ 4 µg/ml CAZ ≥ 16 µg/ml	CTX ≤ 22 mm CAZ ≤ 17 mm
第三世代セファロスポリン耐性大腸菌	CTX または CAZ が "R" の <i>Escherichia coli</i>	2001-2007		

大腸菌に対する各種抗菌薬測定株数(2016年)

CTX	225,781 件
CAZ	301,599 件
CTRX	222,831 件